



電動モータープロジェクタースクリーン スペクトラムタブテンションシリーズ (Spectrum Tab-Tension Series) ユーザーガイド

重要:安全に使用するための注意事項

スクリーンをご使用になる前にこの説明書をお読みいただき、下記の手順に従って正しくお使いください。

- 必要な場合に備えて、本書を保存してください。
- 製品の損傷を避けるため、メーカーが指定した付属品を使用してください。
- 運搬の際は、注意して取り扱ってください。
- 装置に電源を供給する電源コンセントは、できるだけ近い場所を選んでください。
- 起伏や段差のある場所、傾いた場所に製品を置かないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。また電源コードは、人がつかずいたりしないように、コンセントに正しく差し込んでください。
- 感電や火災を避けるため、電源コードに過剰な電流を流さないでください。
- 製品の内部には、お客様で整備や修理をすべき部品はありません。指定された技術者以外はカバーを外さないでください。
- 電源は連続的に供給されるようにしてください。
- 延長コードを使用する必要がある場合は、オーバーヒートを避けるために、同じ規格(日本国内は100V)のものをご使用ください。
- 手が濡れている状態や、体の一部が水に触れた状態で電源コードを触らないでください。
- 強風・豪雨や雷などの極端な悪天候が予想される場合にはコンセントを抜いてください。
- 直射日光・雨・湿気が当たらないようにしてください。
- 製品が加熱されないよう、火の近くや高温となる場所を避けて設置してください。
- 製品を移動させる場合やメンテナンスの際には、電源コードを抜いてください。
- 製品を長期間使用しない場合は、他の家電製品と同様に電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ケガや感電の可能性があるので、製品が明らかに損傷している場合や部品が故障している場合は、製品の使用をおやめください。

警告

スクリーンの出荷時、スクリーンの下降位置は最大の長さに調節されています。ローラーには余分なブラックマスク部分がありません。スクリーンの限度を超えて調整しようとする、モーターにダメージを与え、製品の保証が無効となりますので、ご注意ください。製品に対する非認定の改造または修理(配線のための電源コードの切断は除く)は禁止されており、メーカーの保証が受けられなくなります。製品に関するご質問は、エリートスクリーンジャパンまでお問い合わせください。

注意:

本装置は、テストの結果、米国 FCC 規定の第 15 条に準拠した、クラス B デジタルデバイスの制限を満たしていることが確認されています。

クラス B の制限は、装置を住宅地域に設置して使用した場合に、有害な電波障害が発生しないことを目的に定められています。本装置は無線通信周波数の電波を生成し放出するため、使用説明書に沿わない設置方法や使い方をすると、無線通信の障害になる可能性があります。

なお、特定の設置方法によって、電波障害が発生しないという保証はありません。装置がラジオやテレビの受信に有害な電波障害を発生させるかどうかは、装置の電源をオン・オフすることで判定できるので、以下の方法をお試しください。

- ✓ 影響を受けている可能性のある受信アンテナの場所や方向を調整する。
- ✓ 本装置と受信装置の距離を離す。
- ✓ 受信装置が使用しているコンセントと別のコンセントを使用する。

設置の準備

1. スクリーンは、注意して開梱してください。
2. スクリーンは清潔で常に平らな場所に設置してください。
3. スクリーンの表面が汚れないよう、ホコリや、筆記用具、液体などの異物に触れないようにしてください。

注意

取り付け方法に関わらず、スクリーンは確実に固定されている必要があります。間違ってスクリーンに力を加えてしまった場合や振動で、ケースの取り付けが緩んだり落ちたりしないように、取り付け場所に見合った適切な強さでビスを確実に締めてください。

設置方法

A. 壁への取り付け(壁掛け):

1. 巻き尺等を使用して、両エンドキャップの後ろにある 2 つの穴の間の距離 A(図 1)を測ります。ネジを挿入する壁の 2 カ所にマークを付け、穴を開けます。
2. 壁にドリルで開けた 2 つの穴に壁用アンカーを挿入し、アンカーにネジを挿入します。このとき、ネジの頭はアンカーから 1/8" (約 3.2mm) 以上飛び出した状態にておきます(図 2)。
3. 取り付けたネジにスクリーンを吊り下げ、同梱されている水準器を使用し水平に設置します(図 3)。

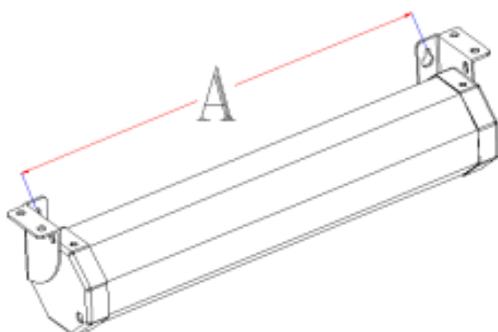


図 1

ネジの頭は壁から 1/8" (約 3.2mm) 以上飛び出した状態にておきます。

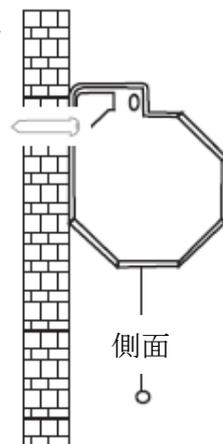
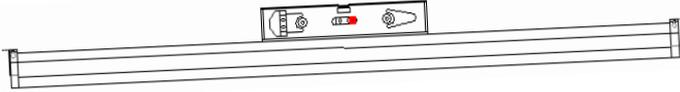


図 2

1. 気泡がどちらかに寄っている場合は、スクリーンが水平になっていません。



2. 気泡が中央にある場合は、スクリーンが水平になっています。

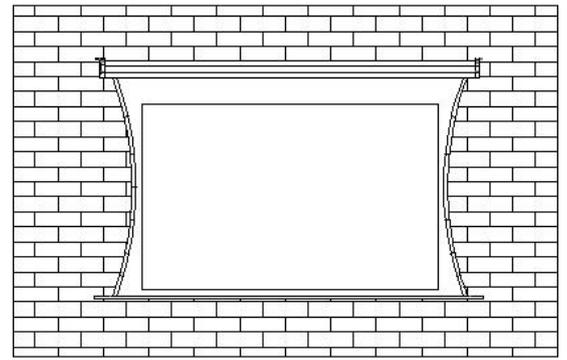
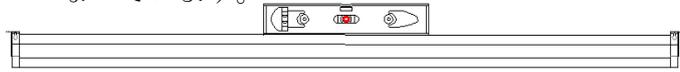


図 3

B.天井への取り付け(天井面に直接取り付け):

1. 巻き尺等を使用して、両エンドキャップの上部にある穴の間の距離 B(図 4)を測ります。ネジを挿入する天井の 4 カ所にマークを付け、穴を開けます。
2. 天井にドリルで開けた 4 つの穴に壁用アンカーを挿入し、ネジをエンドキャップの穴からアンカーに通し、アンカーが取れないようしっかりとネジを締めます(図 5)。
3. 取り付けしたネジにスクリーンを吊り下げ、同梱されている水準器を使用し水平に設置します(図 6)。

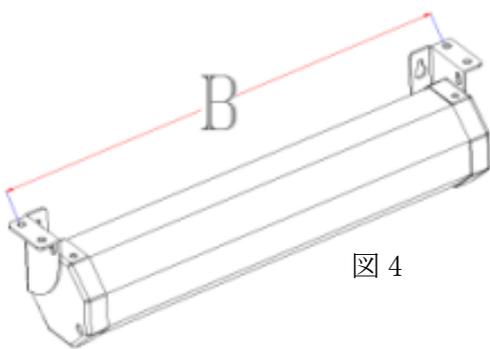


図 4

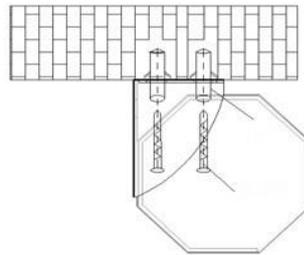


図 5

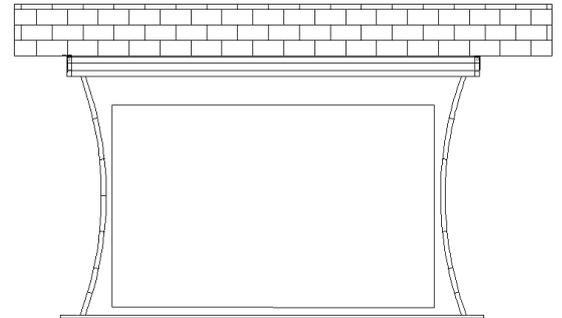


図 6

C.天井への取り付け(天吊り):

必要な金具(付属していません):ネジフック、スナップリンク、チェーン

1. 巻き尺等を使用して、両エンドキャップの上部にある穴の間の距離 C(図 7)を測ります。
2. ネジを挿入する天井の箇所マークを付け、穴を開けます。
3. 天井にドリルで開けた穴に壁用アンカーを挿入し、ネジをチェーンの取り付け部分からアンカーに通し、アンカーが取れないようしっかりとネジを締めます(図 8)。
4. 天井にネジ付けした部分にチェーンを取り付けます。
5. スクリーンのエンドキャップをチェーンの一番下にあるスナップリンクに取り付けて、吊り下げます(図 8)。
6. 取り付けしたネジにスクリーンを吊り下げたら、同梱されている水準器を使用して水平に設置します。

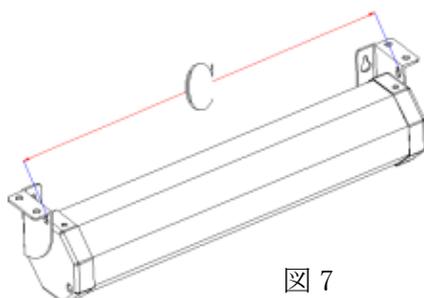


図 7

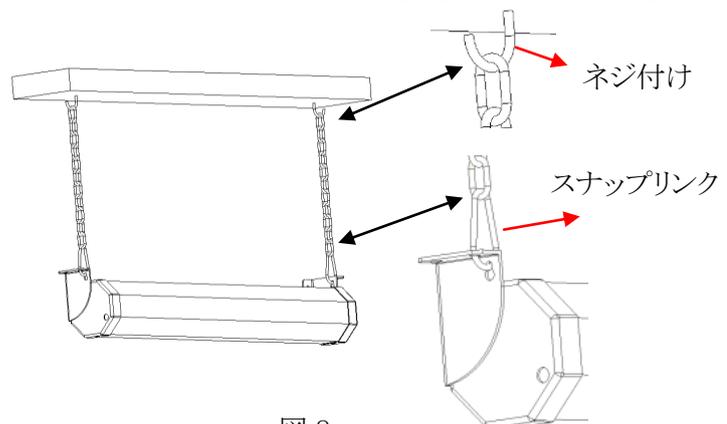


図 8

スクリーンの緊張(テンション)の調整(4mmの六角レンチが必要です。このレンチは付属していません。)

ウェイトバーのエンドキャップを取り外すと、調整用のテンションノブがあります(図9)。

4mmの六角レンチでテンションノブを時計回りに回すと、スクリーンの緊張を強めることができます。反時計回りに回すと、緊張を弱めることができます。

なお、出荷時にスクリーンの緊張(テンション)は最適な状態に調整されています。この調整は必須ではありませんので、ご注意ください。問題がある場合はエリートスクリーンジャパンまでお問い合わせください。

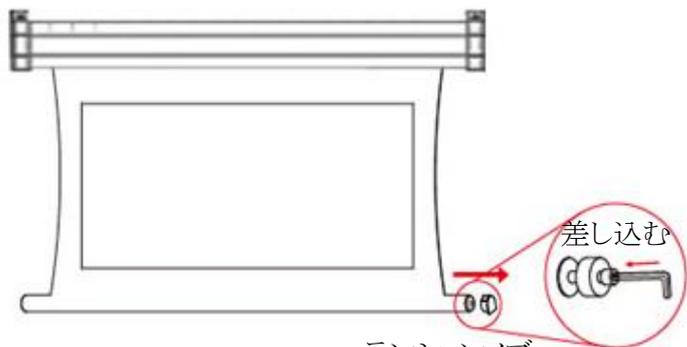
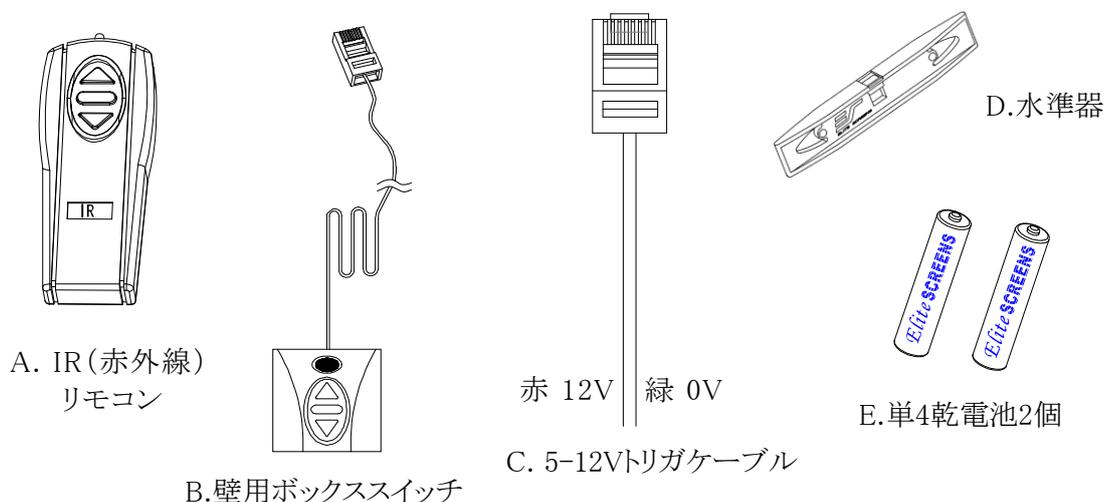


図9 テンションノブ

スペクトラムタブテンションシリーズの付属品



スクリーンの操作

- 1.スクリーンの電源コードをコンセントに差し込みます。
- 2.スクリーンに電源が入ったら、以下の3つの方法のいずれかで操作できます。

スペクトラムタブテンションシリーズの操作システム

5/12V トリガ (付属品 C、図10) : 内蔵されている 5/12V トリガ入力を使用すると、スクリーンをプロジェクターのトリガ出力に連動して昇降させることができます。スクリーンはプロジェクターの電源がオンとなったときに降下し、プロジェクター電源がオフとなったときに上昇します。5/12V トリガ入力のためのケーブルはプロジェクター装置に付属されている場合と別売の場合があります。5/12V トリガ入力をプロジェクターに接続してもうまく作動しない場合は、赤(+)と緑(-)のケーブルを 9V 電池に接続してテストしてください。

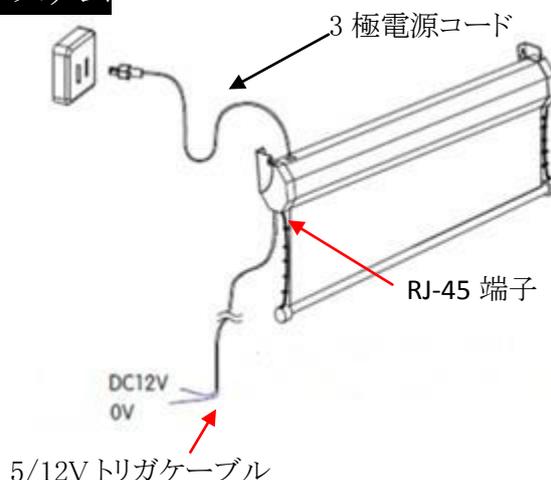


図10

2. 3ウェイ壁用スイッチ(付属品 B、図 11)

3ウェイ壁用スイッチは、昇降ボタンとスクリーンの RJ-45 端子に直接差し込めるプラグの付いた、壁取り付け用の操作ボックスです。

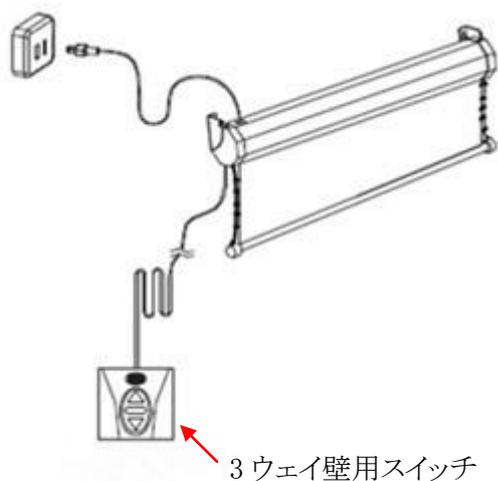


図 11

3. IR (赤外線) リモコン(付属品 A、図 12)：赤外線は、センサーから信号の届く 30 フィート(約 9m)の範囲で、センサーに向けて使用します。

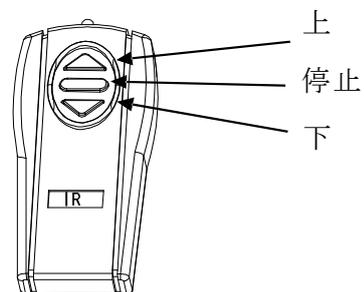


図 12

製品に関するご質問は、エリートスクリーンジャパンまでお問い合わせください。

www.elitescreens.jp